

紙の手形・小切手 利用廃止へ



**2027年3月末までに
紙の手形・小切手の交換が廃止されます。**

政府方針^(※)をもとに、産業界・金融界が連携して手形・小切手の利用廃止に向けた取組みを行っています。今すぐ、でんさい等の電子記録債権やインターネットバンキングによる振込等への切替えをご検討ください。

(※)「約束手形・小切手の利用廃止に向けたフォローアップを行う」(「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2023改訂版(内閣官房)」より)

詳しくは、お近くの北見しんきんへお問い合わせ下さい。

オホーツク圏経済情勢報告(令和7年10月判断)概況

総括判断

前回(7年7月判断)	前回比較	今回(7年10月判断)
持ち直しつつある	⇒	持ち直しつつある

※判断の据え置きは、令和5年7月判断以降、**10期連続**

各項目の判断

	前回(7年7月判断)	前回比較	今回(7年10月判断)
個人消費	持ち直しに向けたテンポが緩やかに なっている	⇒	持ち直しに向けたテンポが緩やかに なっている
観光	緩やかに回復している	⇒	緩やかに回復している
雇用	緩やかに持ち直しつつある	⇒	緩やかに持ち直しつつある
公共事業	前年を上回る	⇒	前年を上回る
住宅着工	前年を下回る	⇒	前年を上回る

先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。
ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

(注)7年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

北海道財務局北見出張所調べ